

## パブリックコメントのお願い

日本集中治療医学会 看護卒後教育検討委員会では、現在、「改訂版 集中治療に携わる看護師のクリニカル・ラダー」の作成を行っております。広く集中治療に携わる看護師の皆様からのご意見を賜りたく、このたび、パブリックコメントを募集させていただき運びとなりました。改訂版ラダー作成の概略を以下に記載いたしますので、ご理解いただいた上でご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

### 改訂版ラダー作成に至った経緯

日本集中治療医学会が公表しているラダー<sup>1)</sup> (旧ラダー) は、2014 年に策定提示されました。旧ラダーでは、集中治療に携わる看護師に求められる「臨床実践能力」「組織的役割遂行能力」「自己教育・研究能力」「看護倫理」の 4 つの力が 4 段階で提示されています。単に専門的な知識・技術だけでなく、自律・自己啓発・責務と協働といった社会的基礎能力も視野にいれており、本学会における看護師教育システムの基盤として位置づけてきました。

一方、2016 年に日本看護協会は「看護師のクリニカル・ラダー」<sup>2)</sup> (日本看護協会版ラダー) を公表しました。このラダーでは、すべての看護師に共通する看護実践能力に焦点が当てられており、その核として必要な 4 つの力(「ニーズをとらえる力」「ケアする力」「協働する力」「意思決定を支える力」) が 5 つの習熟段階で示されています。この公表を受け、日本全国の様々な施設や部署でラダー導入を開始したり、既存の施設独自のラダーを日本看護協会版ラダーに沿った形で読み替える作業が始まっています。

そこで、本学会でもこの全国的な流れを受け、日本看護協会版ラダーを基本としつつ、集中治療看護の専門性をふまえた「集中治療看護実践能力」に焦点をあてたラダーが必要と判断し、「改訂版 集中治療に携わる看護師のクリニカル・ラダー」の作成を開始しました。

### 改訂版ラダーの対象と日本看護協会版ラダーとの差異

改訂の方向性は、日本看護協会版ラダーのレベル毎の定義や目標、行動目標を集中治療看護の専門性に照らし合わせて読み替えをおこなうものです。特に、本学会は、特定集中治療管理料 1 施設認定を推奨する立場であることから、特定集中治療管理料 1 又は 2 の施設で働く看護師を対象としたラダーを作成しています。そのような施設・患者特性を加味しながらレベル毎に想定患者や臨床状況を設定し、読み替え可能とする実践例を明記しました。

### 今後の方向性

日本集中治療医学会がこの改訂版ラダーの作成と普及を通して期待することは、以下の 3

点になります。

- ① 集中治療に携わる看護師の実践能力の向上に寄与すること
- ② クリニカル・ラダーの活用を通して集中治療に携わる看護師が継続的に自己啓発を行い、専門的能力を高める機会とすること
- ③ 社会や組織に対して、集中治療に携わる看護師の実践能力を客観視するための資料を提供すること

本学会では、この改訂版ラダーを看護実践能力をより高めていくためのツールとして活用いただきたいと思います。また、ラダーレベルで設定している想定患者の業務を実施できるか否かを規定するものではなく、あくまでも看護を実践する上での教育的支援の必要性を判断するために活用いただければ幸いです。更に、改訂版ラダーは、既存のラダーを見直す際のランドマークとして、皆様の施設の特徴に合わせてながら活用いただきたいと思います。

今後、集中治療に携わる看護師の看護実践能力をより高めるために、このラダーを本学会主催の教育セミナー等と連動させていくことを計画しています。

#### 参考文献

1. 一般社団法人日本看護協会『「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用の推進』  
URL： <https://www.nurse.or.jp/nursing/jissen/index.html> [最終閲覧：2019/03/20]
2. 日本集中治療医学会 看護部会『集中治療に携わる看護師のためのクリニカル・ラダー 運用について』  
URL： [https://www.jsicm.org/pdf/JSICMND\\_lader.pdf](https://www.jsicm.org/pdf/JSICMND_lader.pdf) [最終閲覧：2019/03/20]